

# さけへし

2022 JANUARY

NO. 60



## 「新年を迎えて」

理事長 池ヶ谷 聡

日頃より、社会福祉法人焼津福祉会の事業に対し、深いご理解とご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

令和四年の年頭にあたり、皆様方には重ねてのご支援をお願い申し上げ、ここに一言ご挨拶申し上げます。

さて、昨年新型コロナウイルス感染症が世界中に猛威を振るった一年となりました。焼津市においても、八月から九月には多くの感染者が発生し、まさに全国的に第五波となる中、医療関係はかなり逼迫した状況となりました。我々福祉法人におきましても、職員に対する行動制限等、日々感染防止への対応に追われた一年でありました。

本年の新型コロナウイルスの感染状況がどう推移するか、大変懸念される状況下ではありますが、皆様が目立した社会生活を営み、地域の中で共生しているような社会が求められていることに変わりありません。

焼津福祉会では、このような社会の実現に向け、利用者の皆様が、安心して生活できるような環境づくりに鋭意努めております。あわせて、常に利用者の皆様の視点に立った支援に全力を注いでおります。今後とも、地域に愛される福祉施設を目指すとともに、円滑な事業運営により法人経営の健全化を目指し、努力してまいります。

結びに、引き続き皆様方のご支援を重ねてお願い申し上げますとともに、このコロナ禍ではありますが、新年が皆様方にとりまして、よりよい年となりますことをご祈念申し上げます。



## すいせん

生活介護 就労継続支援



商品です！



自主製品販売の機会が減っていますが、この機会にマスクカバーやメガネとマスク兼用ホルダーなどの新作に力を入れました。焼津市精神保健福祉講演会の手土産として使っていただいたり、伊豆の施設での販売会に出展させていただき、とても好評でした。年末恒例の干支の制作も重なり、皆で協力して取り組んでいます。



糸のこで作業しています

## 大井川寮

障害者支援施設



ケーキ  
たのしみ…



毎週火曜日は、おやつの日です。12月は焼津にあるケーキ屋「リリビット」の職人さんがクリスマスケーキ作りのために来てくれました。生クリームでスポンジを飾り付ける工程は力加減が難しく、利用者さん達の真剣に取り組む姿が見られました。完成したクリスマスケーキをみんなで楽しくいただきました。

人気のある陶芸教室を再開しました。一輪挿し作りでは、粘土を棒で伸ばしたり、空洞ができるように丸めたり、難しい工程があったため苦戦していました。完成した作品を見て、「どんなお花を挿して飾ろうか。家族にプレゼントしようかな。」など、みんな思い思いに話をしていました。

## ゆたが

生活介護



粘土を  
しっかり  
伸ばして…



## ワークすばる

就労継続支援



プラモデルの部品が  
傷つかないように  
気を付けて、  
袋詰めを行っています



小さな子供たちが  
安全に遊べるように、  
きれいに消毒作業を  
行います

「ターントクルこども館」の消毒作業

# Re:START

～再開しました～

新規作業として、ターントクルこども館の玩具消毒作業と山下成型のプラモデル袋詰め作業が加わりました。また、以前から作業をいただいている企業のご協力もあり作業量も増えてきました。「作業が増えて嬉しいね。作業がんばるぞ」と、利用者達にも少しずつ活気が戻ってきました。これからも丁寧で正確な作業を心掛けていきます。

## 虹の家

生活介護

上手に  
とれたよ！



これに  
決めた！



グループ別外出を再開しました。外出は自分で選択し活動を決めています。「リンゴ狩り」に出かけました。園では樹に実っているリンゴを、初めて見たという利用者さんもいました。リンゴを回転させて上手に切り離して、自分の手で収穫できたことは、とても良い経験になりました。皆さん久しぶりの外出で、リラックスした姿が印象的でした。



## ゆりがもめ

生活介護



講師の指導のもと、焼津体育館で行っているリズム体操を再開しました。広い体育館でのびのびと身体を動かしたり、平均台やフラフープなどにチャレンジしたり、普段できない運動を楽しんでいます。リズム体操の後は、ほど良い疲労とリフレッシュした表情を見せています。

みんな  
一緒に！



ドキドキ





地域支援の充実と連携強化を図るための研修を行っています。  
(今回は、焼津市の幼稚園教諭、保育士、学校教諭が参加してくれました)

## 児童発達支援センターぽぷら 発達支援研修会

今年度も焼津市の幼稚園、保育園を対象に「児童発達支援センター『児童発達支援センターぽぷら』の役割」と題して、発達支援研修会を開催しました。

2日間で、19名の方に参加していただき、児童発達支援センターぽぷらの子どもの日々の生活を見学していただいたり、焼津市の療育の流れについても触れながら『児童発達支援センターぽぷら』のことを紹介しました。

### ◎参加者からの感想◎

児童発達支援センターぽぷらの役割についての研修では、自分が思っていた以上に焼津市の子育て支援が細分化されていて、こども相談センター、保健センター、児童発達支援センターぽぷらの連携をわかりやすく知ることができた。

実際、見学し個々の大切さを改めて感じた。「個」を大事にしていることが本当によくわかった。壁には、マカトンサインの図や今日の一日の流れの表があり、一つひとつの細やかな工夫がたくさんされていた。先生たちの連携や子ども達との信頼関係もとれていることが参考になった。



先生方が子ども達の様子を見学してくれました。



## 焼津市教員3年次研修



園庭遊び



ニンジンの皮むきに挑戦しました

7月、10月の2日間、焼津市内小中学校教員20名が「社会教育、社会福祉等に関する理解を深める」ことを目的に、教員採用3年次研修を実施しました。

1グループ5名の教員が「児童発達支援センターぽぷら」「虹の家」「ワークすばる」「ゆたか」で、利用者さんと一緒にレクリエーションや作業活動を行ないました。

### ◎参加者からの感想◎

できないことに目を向けるのではなく、できることを見つけていくことに目を向けていかなければと思った。

あせらず、待ってあげ、こどもの変容を長い目で見ていく支援の大切さを知った。

職員同士がこども、利用する方の特性を共有し、チームで支援していくことの大切さを知った。

## 第29回焼津福祉社会作品展のお知らせ

施設利用者さん達が、活動の中で時間をかけて作った作品です。より多くの皆さんに見ていただきたいと思います。ぜひ、ご来場ください。お待ちしております。

- 日時 令和4年2月17日(木)から20日(日)
- 時間 午前9時から午後5時まで  
(最終日は午後3時まで)
- 場所 ふれあいギャラリー
- 住所 焼津市本町5-1-18
- 内容 絵画・書・手工芸 など
- 連絡先 大井川寮 (Tel622-8430)



# 仲間と共に



## 花・はな

地域活動支援センター

午前中の活動として、レクリエーションを行っています。利用者さんからアイデアをいただき、いろいろ工夫しながら活動しています。手を使い“投げる”ものが多いため、今回は足を使い“蹴る”ものを考えました。利用者さんに何度か試して頂きながら、改良を重ねて完成したのが“コロコロキック”です。手作りのディスクを蹴り、数字の上に乗れば得点ゲットです。利用者さんからのリクエストも多く、小運動会の種目としても楽しみました。



高得点  
ねらうぞー!!

## 色えんぴつ

児童発達支援 放課後等デイサービス

季節の行事やいろいろな制作など日々活動しています。秋はハロウィンを楽しみました。自分達で作ったお面とマントを身につけて変身!! どの子も仮装が気に入って、サーキットや体操をみんなと一緒に楽しむことができました。写真撮影では、笑顔でポーズをする子もいました。絵の具あそびでは、はじき絵でクリスマスのツリーを作りました。画用紙にクレヨンでお絵描きした上に、絵の具でグルグル〜! 絵の具がはじく様子に、「わ〜」と喜んでいました。これからも季節を感じながら、みんなと一緒に活動を楽しんでいきたいと思っています。



はいポーズ

## 慈恵園

養護老人ホーム



体操をじて1ポイント獲得!

令和3年の9月より、「いきいき&スマイルポイント」の実施を始めました。いきいきポイントは、ラジオ体操や散歩等、自分自身の健康の為にを行った事に対してポイントが獲得出来ます。スマイルポイントは、誰かの為に役に立つ事をする、ポイントが獲得出来ます。今まで、体操やお散歩に参加していなかった方も、積極的に参加してくれる様になりました。利用者さんのやる気向上に一役買っています。ポイント還元のイベントを、職員と利用者さんが一緒になって企画したり、表彰式を実施したりしています。ポイント制度を上手に活用して、利用者さんのやる気を引き出し、これからも健康維持、日々の笑顔の為に、前向きに取り組んでいきたいと思っています。



朝のDVD体操!

## すひか

共同生活援助

12月、グループホームでは、みんなで協力しながらクリスマスの飾りつけを行いました。完成したリビングの雰囲気はとても賑やかになりました。クリスマスケーキもみんなで堪能し、楽しみが多い季節を、毎年心待ちにしています。



みてみて、  
きれいでしょ





## 「焼津福祉会を

## 支える会」だより

### 「焼津福祉会を支える会」

会長 水野 時雄

「焼津福祉会を支える会」会長の水野と申します。よろしく願っています。

令和四年の新春にあたり、本年が皆様にとってより良き年でありますことを祈念申し上げます。

さて、私たち「焼津福祉会を支える会」は、焼津福祉会に対し、理解と関心を持つ皆様方により、後援活動を行っている団体であります。

「支える会」では、毎年度、会費のうちの一部を焼津福祉会へ寄附するとともに、年二回、当機関紙「さばーと」を発行しております。

昨今のコロナ禍、障がい者施設を取り巻く環境が厳しくなっていく中、ますます支援の手が必要となつてまいります。障がい者が自立して、共に生き支えあう社会の実現を目指している焼津福祉会の、更なる発展のためご支援をいただきたく、「支える会」へのご入会をお願いするものであります。

なお、ご入会につきましては、皆様方のご意思によりまして、随時ご入会をいただいております。また、継続してのご入会につきましても、よろしくお願ひ申し上げます。

令和四年一月

## みんなの心

### 《寄附金・寄附物品ご協力者》

明るい社会づくり運動焼津地区協議会

いづみや

大橋清

㈱マルハン焼津店

黒潮会

厳智会

孝道山

佐藤健

ニシダ㈱

松永洋子

焼津市仏教会

有敬宝

和洋菓子ヤマカワ

### 《ボランティア》

磯田和明

須田昌恵

中野富士恵

ボランティア21

山田悦郎

山田節子



(令和3年6月から

令和3年11月まで)

(以上敬称省略)

### \* 編集後記 \*

令和4年がスタートしました。新たに目標を立てたり、やりたい事を考えたりして、前向きな気持ちで日々を重ねていきたいと思っています。

世の中の状況が、変化する中、身近な人の大切さに気付いたり、「当たり前」が何かを考えさせられる事が多々あります。どんな時でも、希望を持ち、感謝の心を忘れず、優しさで温かさを持つて、過ごして生きていきたいものです。

